

第5回 国分寺都市計画道路3・2・8号線沿道まちづくり協議会

日 時 平成20年4月22日(火) 午後7時00分～
場 所 国分寺Lホール

議 事 次 第

1. 開会

2. 副市長挨拶

3. 議 題

- (1) これまでの協議会等の経過について(報告事項)
- (2) まちづくり計画の構成と今後の検討の進め方について
- (3) まちづくり将来像(案)について
- (4) その他

4. 閉 会

(配布資料)

- 第4回国分寺都市計画道路3・2・8号線沿道まちづくり協議会議事要旨
- 資料5-1: これまでの協議会等の経過について
- 資料5-2: 沿道まちづくり計画の構成と協議会の運営についての提案
- 資料5-3: まちづくり将来像(案)について

第4回 国分寺都市計画道路3・2・8号線沿道まちづくり協議会 議事要旨

【日 時】 平成20年1月24日(木)午後7時00分～午後9時10分

【場 所】 ひかりプラザ

【出席者】 協議会委員名簿参照(出席者15名)
副市長、市事務局5名、協力機関6名
傍聴者8名

(50音順・敬称略)

氏 名	所 属 等	区分	グループ	備考
あいはら しん 伸	首都大学東京 准教授	6号	A	
ありの たかし 隆	早稲田大学理工学術院 教授	6号	A	
ありのしゅう 重 威	国分寺市市民生活部長	7号	-	欠席
いながみ 道 子	(株)フェリックス 代表取締役	6号	B	
おぐち しんいち 一	国分寺市清掃施設整備等担当部長	7号	-	欠席
かんの たかよし 義	戸倉自治会	2号	A	
きはら かずと 人	武蔵台自治会	2号	-	欠席
くりはら しんいち 一	内藤自治会	2号	-	欠席
こうやま まさゆき 行	内藤自治会	2号	-	欠席
こうやま ひでお 雄	国分寺市商工会	4号	-	欠席
さかもと ゆき 幸 雄	公募市民(並木町在住)	1号	A	
すずき よしひろ 弘	国分寺市都市建設部長	7号	-	欠席
たかだち えみ 美	国分寺市立小中学校PTA連合会	3号	-	欠席
てらうち よしのり 典	国土館大学工学部 准教授	6号	B	
ないとう たか 孝 雄	内藤自治会	2号	A	
ないとう とよかず 一	内藤自治会	2号	A	
なかむら みつとし 利	内藤自治会	2号	A	
なかむら やすゆき 幸	東京むさし農業協同組合	5号	B	
ひぐち みち 雄	国分寺市政策部長	7号	-	欠席
ひぐち やすあき 明	公募市民(東元町在住)	1号	B	
ふじき たえ 子	公募市民(戸倉在住)	1号	B	
ふなみ 水 弘 子	国分寺市立小中学校PTA連合会	3号	B	
ほりぐち いさく 作	共益東部自治会	2号	B	
やまね まもる 衛	戸倉自治会	2号	B	

1号委員：公募により選出された市民 2号委員：国3・2・8号線沿道地区関係自治会の推薦者
3号委員：国分寺市立小中学校PTA連合会の推薦者 4号委員：国分寺市商工会の推薦者
5号委員：東京むさし農業協同組合の推薦者 6号委員：識見を有する者 7号委員：国分寺市の職員
：座長 副座長

【事務局】

所 属		氏 名	電 話
(幹事)	政策部 政策経営課長	内 藤 達 也	042 -325 -0111 内線371
	市民生活部 経済課長	加 藤 美 智 子	内線392
	都市建設部 道路管理課長	栗 原 修	内線503
	緑と水と公園課長	荒 井 務	内線352
	建設課長	阿 部 崇	内線505
	環境部 環境計画課長	富 澤 守	内線438
	下水道課長	伊 藤 勘 一	内線442
	教育部 学務課長	福 島 繁 雄	内線457
(事務局)	都市建設部 都市計画担当部長	松 本 昭	内線510
	都市計画課 都市計画担当課長	増 田 聡	内線513
	都市計画担当係長	池 田 昇	内線512
	都市計画担当	小 川 登	”
	”	三 田 俊 子	”
	”	橋 口 順 子	内線387
	(協力)株式会社建設技術研究所		

(都市計画課)

Fax
E-mail

042 -328 -1823
toshikeikaku@city.kokubunji.tokyo.jp

【議 題】

1. 開会
2. 座長挨拶
3. 副市長挨拶
4. 議 題
 - (1) 次世代アンケート調査結果（報告事項）
 - (2) まちづくり将来像について（前回の意見の整理）
 - (3) まちづくり将来像について検討・協議
 - (4) その他
5. 閉 会

前回到引き続き、二班に分かれて「まちづくり将来像」について協議

【協議内容】

Aグループ：

ある程度、自由度のあるまちづくりを提案していきたい。
武蔵野の面影を残すような緑豊かなまちが理想的。
高齢化社会に向け、バリアフリーの視点が重要
もっと生活を豊かにしてくれる道路空間にしたい

（将来像のキーワードなど）

自由な暮らし、環境への調和に配慮した可能性のあるまち

Bグループ：

活気のあるまちは、人の交流やコミュニティの活性化につながる。
子育てがしやすいまち。安全・安心に子供からお年寄りまで暮らせることも必要
住み続けられるまち、暮らしやすさなど住環境の快適性が大切ではないか。
大事な視点として持続可能な発展という考え方がある。

（将来像のキーワードなど）

暮らし・環境・豊かさ・いきいき・輝く + をつなぐみち・はぐくむみち

視点 : 利便性・活力

- ・ 色々な店(クリニック等)が出来て交流することで地域の活性化につながる
- ・ 規制をしない自由なまち(ある程度自由)生活の利便性を(ゾーニング)を上げる
- ・ お年寄り、子供など多様な世代を応援(子育ての人のためのお店がある)
- ・ のびのびできる。歩いて楽しいまち、ジョギング・散歩などで使える
- ・ コミュニティの活性化、活気のあるまち
- ・ まちと緑の調和
- ・ 緑があって住宅ばかりでなく色々な暮らしを支える為の店があるまち
- ・ 通過する方の立ち寄ることもあるけど、沿道に住む方のための土地利用
- ・ にぎわいの使い方(商業/居住)を整理すべき。

視点 : 公の視点～空間のつくり方～

- ・ 道路が出来てから考える可能性も残して欲しい(自由も必要)
- ・ 清々しい開放感などという大きな想像
- ・ 駅へのアクセス
- ・ 東西の分断が大きいので適宜、横断させることも大切
- ・ 郊外型の大型店舗がくるような可能性はかなり厳しい

視点 : 防災・防犯

- ・ 逃げ道と救助に利用する時の使い方のバランスを図る
- ・ 歩道の使い方(災害時や防犯対策)が重要
- ・ 歩道は分離せずに使える方が防災上は良い
- ・ 現況の道路で細い道路について安全を考えるのも必要
- ・ 防災軸とつながるまちづくりの部分は、間口を広くとることで対応
- ・ 細い道路は防災の面から間口を広げることが大事
- ・ 子どもたちが安全でのびのびできるまちづくりということで、沿道に広い公園をつくってほしい(避難場所にも活用できる)
- ・ 防災は平常時と非常時を分けて考えるべき。

視点 : 環境(生活環境含む)

- ・ 緑豊かなまち、緑のネットワーク
- ・ 雑草とりなどのメンテナンスは地域の力で
- ・ 相続の時に緑が減るのはせつない
- ・ コミュニティ形成の面から店舗も必要
- ・ 建物と緑との調和(ゾーニング)
- ・ 高度利用/拠点
- ・ 国3・2・8号線を活かした周りのまちづくり
- ・ ミニ開発を地区計画で規制
- ・ 開発行為等指導要綱だけでは不十分

将来像は・・・

自由な暮らし・環境への調和に配慮した可能性のあるまち

[キーワード]

ゾーニングとのイメージを持つことが大事
 バリアフリー
 開放的で生活と関わる道路
 高齢社会に対応した道路(子供にも安全)

視点 : 交通安全

- ・ バリアフリーを第一に
- ・ 交通安全宣言市
- ・ 安全・安心
- ・ 子供からお年寄りまで・マナーの向上も大事
- ・ 利便性と安全性のバランスのとれたまちづくりが重要
- ・ 信号のバランス(平面交差)右左折の処理
- ・ 学生が多いところは自転車も多いので対応した道路
- ・ 交差点間に1箇所程度の横断歩道が欲しい 東西連絡
- ・ 混雑(渋滞)しない道路(工事やメンテナンスが原因で混むのは嫌)
- ・ 横断歩道は動線的に必要(100~150m毎に)
- ・ 横断歩道は最小限でよい。トラック等の停止、発進により騒音が発生する。

視点 : 景観

- ・ 美しいまち
- ・ 武蔵野の面影
- ・ 出来上がって“良かったな”となる大テーマの設定が必要
- ・ 一定の自由度も必要
- ・ 地区計画でミニ開発などを規制(500㎡以上:条例, 500㎡以下:指導要綱)
- ・ 住・楽などゾーニングを導入し、バランスのとれた街並み
- ・ 高い建物でも、緑に配慮したものを作っていけば良い
- ・ 地区ごとの方向性(ゾーン)を決めて緑に配慮
- ・ 道路自体で緑が分断されるので緑地帯は、統一のとれた(バランス感)緑であるべき
- ・ 街路樹について、将来の子どもの誇りになるような、桜の並木が欲しい。
- ・ 農地利用の方針をふれておくべき。

視点：利便性・活力

- 賑やかなまち
- 賑わいの創出
- 活気のあるまち
- 交流空間
- 賑わいについては、部分的に必要なところもあるので、活力という言葉でどうか。
- 移動のしやすさ
- 人が集まる
- コミュニティの活性化

視点：住環境の快適性

- 住み続けられる
- 暮らしやすい
- 歩いて楽しいまち
- 歩行者と自転車を大切にしたいまち
- 緑と景観だけでなく、住環境の快適性も必要
- 住環境の保全
- 良好な住宅地

視点：国分寺らしさ

- 歴史文化
- 誇りを持てる
- 品格のある
- 武蔵野の面影
- 武蔵野らしさではなく国分寺らしさをどう作るか。
- 武蔵野の原風景
- 国分寺らしさ
- 静かなまち
- 環境にやさしい

視点：安全・安心

交通安全

防災・防犯

- 通り抜けができないまち
- 自転車利用のしやすさ
- 子供たちの安全
- 移動のしやすさ
- 犯罪を誘発しない
- 防災軸
- 災害に強いまち
- 緑が多くなると暗くなるので、ただ、緑をつなげばいいというものではない。(夜の通勤・通学で人気がないのは問題)
- 交通問題が重要(市街地や周辺は道路がすべて分断される対策)
- 国分寺には、大きい道と細い道しかない。それを繋ぐ道路も必要
- 生活道路を脅かされないようにしてほしい
- 交通体系を考えるべき(Uターンの問題)

将来像は・・・

くらし・環境・豊かさ・いきいき・輝く
+
をつなぐみち・はぐくむみち

[キーワード]

- まちの価値を高める
- 人のつながりを育むまち
- 幹線道路とくらしの共存
- 国分寺市民のためになる道路
- 良好な住環境のもとで豊かなくらしが続けられるまち
- 歩いて楽しい歩道
- 新たな出会い
- 国分寺に住みたいと思うまち
- 大学通りのように

視点：農(を守る)

- 持続可能な発展
- 農住が共生する
- 農の緑をどう考えるか。

視点：福祉

すべての人にやさしい

- 子供からお年寄りまで
- バリアフリー
- 子育てしやすいまち
- 安心して安全に子供からお年寄りまで暮らせることも必要(福祉も含む)

視点：水と緑

- 緑のネットワーク
- 自然を満喫
- 緑との共生
- 緑の美しさ
- 緑豊かなまち

視点：景観

- まちと緑の調和
- 美しいまち街並み
- 景観と緑の美しさが重要。
- 建物、サイン、緑がすべて美しいと感じるものにしたい。
- この道に入ったら、あぁいい道だというものにしたい

これまでの協議会等の経過について

沿道まちづくり協議会これまでの経過と主な意見を以下に示す。

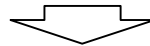
協議会のテーマ

第1回全体協議会(H19.3.14)
テーマ:沿道のまちづくり計画
について

協議会における主な意見

(まちづくりへの懸念事項・配慮事項)

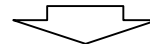
- 環境、生活、地域の活性化などを考慮した土地利用・まちづくりが必要。
- 五日市街道は狭く危険なので、新しい道路は歩道を整備すると同時に車の流れをよくしてほしい。
- 小学校のPTAとして大きな道路ができると不安。
- 大きな道路ができることにより学区域や通学路への配慮が必要。
- 既存道路が鋭角に交差する場所が多く、市民生活を不便にしない配慮が必要。
- 生活利便性の観点から適切な横断箇所の設置が必要。



第2回全体協議会(H19.7.17)
テーマ:沿道地区の現況と課題
について

(まちづくりで検討すべき事項)

- 沿道の土地利用ができないと、道路を作る意味がない。経済効果等を含め検討していくべき。
- 都市緑化の観点から、道路完成後も一定量の緑地を確保して欲しい。
- 生活道路の車の流れ、交通量などを把握した上で、新しい道路との接続について考えるべき
- 100年後を見据えた道路、利便性を考え、安全かつ便利な道路を作りあげなければならないと思う。
- 生活動線を考慮した横断路は、適正な配置が必要。



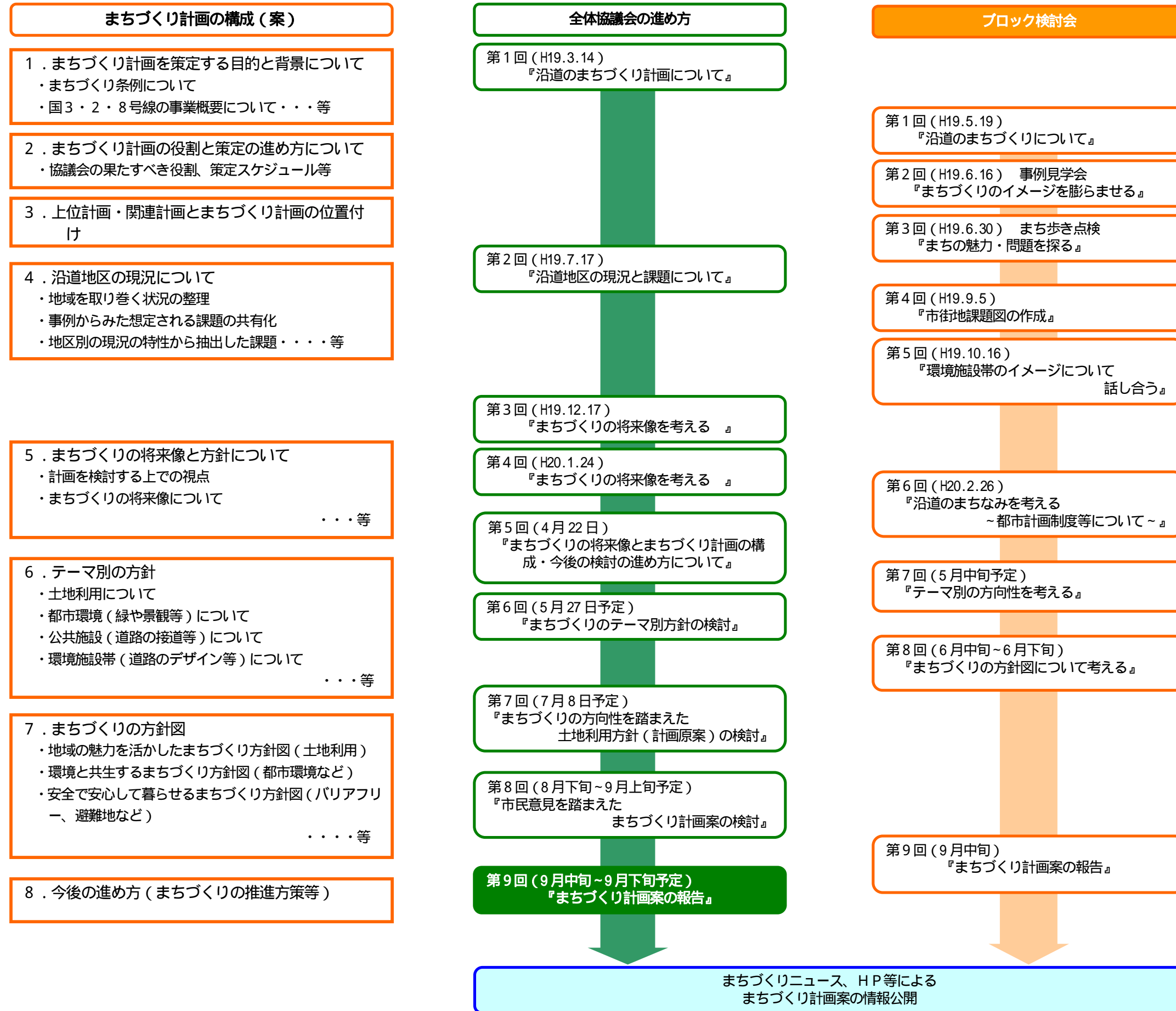
第3回全体協議会(H19.12.17)
テーマ:まちの将来像について
意見交換

(沿道まちづくりの将来像に向けた視点)

- 住み続けられる、暮らしやすいまち
- 持続可能な発展
- まちと緑との調和
- 緑豊かなまち、緑のネットワーク
- 美しい街並み。景観と緑の美しさが重要。
- 自由なまち、生活の利便性を上げる
- 色々なお店が出来て交流することで地域が活性化
- 災害に強いまち
- 良好な住環境の保全
- コミュニティの活性化、活気のあるまち
- 国分寺市民のためになる道路
- 子育てしやすいまち
- 犯罪を誘発しない
- 子供からお年寄りまで安心して暮らせるまち

第4回全体協議会(H20.1.24)
テーマ:次世代アンケート調査
結果の報告
:まちづくり将来像につ
いて検討・協議

まちづくり計画の構成と協議会の運営についての提案



国 3・2・8 号線沿道のまちの将来像（案）

（全体テーマ）

ひとが躍る 地域が輝く 緑豊かな薫風あるみちづくり・まちづくり

1 沿道の市街地特性・環境特性を生かした土地利用の保全と活用

国 3・2・8 号線の沿道は、緑豊かな低層住宅地、駅に近い中低層住宅地や商店街、貴重な都市農地などさまざまな表情を持っています。また、本件道路は新設であり、計画道路の線形が、既存の街並みを斜めに貫通することなどから、道路とその沿道の土地利用は、密接な関係を有しています。

そこで、沿道の土地利用については、沿道やその周辺地域の市街地特性・環境特性を生かしつつ、環境への負荷が小さく、地域の持続的な発展が可能となるような土地利用・まちづくりをめざします。

2 環境軸の創出による「緑」と「景観」のまちづくり

国 3・2・8 号線の沿道は、都市農地や武蔵野の面影を伝える雑木林・屋敷林、神社の森、低層住宅地の庭樹など、緑豊かな田園市街地が形成されています。

また、道路の計画幅員 36m の内、環境施設帯は両側で 20m あり、道路本線の車道幅員より環境ゾーンが広い公園道路（パーク・ロード）の特性を有する道路とも言えます。

そこで、こうした環境特性や道路特性を生かし、道路とその沿道が市域を南北に貫く「環境軸」と捉え、緑や美しい街並みと市民生活・地域活動が高度に融和した環境共生型のまちづくりをめざします。

こうした緑の環境軸により、市域南の「国分寺崖線」と小平市域にある「玉川上水」を結ぶ緑の都市ネットワークが形成されます。

3 地域の「活力」と「交流」を促進する自由闊達なまちづくり

国 3・2・8 号線は、市域の中央を南北に縦貫する広域性を有する幹線道路です。そのため、道路の整備により、市域の南北方向、多摩の各地域そして神奈川・埼玉方面への自動車交通の利便性が飛躍的に高まるとともに、緊急車両のアクセス性向上による都市の防災性・安全性の向上、公共交通の導入による生活利便性の向上、細街路に流入する自動車交通の減少などの効果が期待されます。

そこで、道路の整備効果を適正に享受しつつ、地域特性に応じて、商店街の賑わい整備、公共用地の有効活用、恋ヶ窪駅との連携、コミュニティの増進等を通して、市民が自由闊達に活動し、地域の活力と交流を促進するまちづくりをめざします。

4 良好な住環境の保全と創出をすすめるまちづくり

国 3・2・8 号線の沿道の大半は、低層な住宅地や都市農地などが拡がり、静穏な田園住宅地が形成されています。こうした優れた地域環境は、道路の建設整備後も、引き続き適正に維持することが求められます。

そこで、良好なコミュニティを背景にしたゆとりある住環境の確保、都市農地と融和した潤いある「田園住宅地」の創造、子育てしやすい地域環境の創出、不要な通過交通を抑制した安全な生活環境の実現、地域資源を生かした緑のネットワークの形成などにより、市民生活を豊かにするまちづくりをめざします。

そして、市民が地域に誇りと愛着をもてる「ふるさと国分寺」づくりをすすめます。

5 暮らしに「安全」「安心」をもたらす協働のまちづくり

広幅員の国 3・2・8 号線の整備により、地域のコミュニティや歩行者・自転車等の生活交通の分断などが一部懸念されています。また、交通事故や防犯への対策も求められます。

そこで、安全で人に優しい横断路の整備、安全で快適な通学路や生活道路の確保、防災まちづくりの推進、犯罪が起きにくい環境整備などを通して、高齢者や子どもたちの元気な声が地域に響く、安全・安心なまちをめざします。

暮らしの安全・安心、地域の安全・安心、都市の安全・安心を備えたまちづくりを住民、地域、行政の協働によりすすめます。